

神功地区地域ミーティング
(通算第56回)

開催日	平成26年4月15日(火)
開催時間	午後6時30分～午後8時
会場	神功集会所
参加者	22名



地 域 課 題	市 の 回 答
1. 当地区における幼児教育・保育及び初等教育の現状、将来計画並びに具体策について	1. 平城西中学校区には、現在、神功幼稚園、神功保育園、右京幼稚園、右京保育園の4つの市立幼保施設があり、平成30年度までに再編して、2つの認定こども園を設置する予定である。 認定こども園は単に園児の教育・保育を行うのではなく、例えば子育て支援等の事業を行い、地域の子育て支援の拠点となるべく設置していく。
2. 平城西中学校区に二つ開園する認定こども園と幼・保一体化の説明について	2. 認定こども園は、保護者の就労の有無は、関係なく、保育所型と幼稚園型がある。幼稚園と保育園の両方の機能を持つ施設である。 厚生労働省と文部科学省の間に内閣府が入り、両方を繋ぐ。幼・保どちらを主にするかは、各地域の実情に合わせていく。
3. 幼稚園・小学校の園児・児童数の減少は激しい中、不適切な規模になっており、小学校の統合を早急に考えなければならないことについて	3. 市には、十分な教育をする責任があり、そのためには幼稚園・小学校は、一定の規模が必要である。 右京地区と一緒にした、小・中一貫した教育を考えている。
4. 神功幼稚園を今後どうするのかについて 適切な園児数が揃わないと、他の園児と切磋琢磨出来ない。	4. 幼稚園と保育園を統合するには費用もかかる。費用対効果を考え、平成28年には答えを出す。 1年に1園ぐらいのペースで認定こども園にしている。今後、このペースを上げ、早いうちに認定こども園にしていく。

5. 幼稚園・保育園、また、小学校だけの統合を考えるのではなく、中学校区単位で統合を考える必要がある。答えを出すのを28年度よりもっと早くしてほしいことについて

6. 当地区内の住民活動施設の現状及び整備充実に関する将来計画並びに具体策について

7. 平成20年度にふれあい会館設置要望を出し、設置する旨、市から回答をもらっている。ゼロからの要望ではない。平成20年度にのった形の回答をいただきたいことについて

8. 当時の約束を反故にするのは、おかしく、幼稚園・保育園・小学校を統合したら、出来ることについて

9. 新設を要望しているのではない。幼稚園・保育園・小学校を再編したら、空いてくる物があり、それを利用してはどうかということについて

10. 平城西公民館の利便性の向上・改修等について

5. 熱き思いと承り、しっかりと考えていく。0歳から15歳まで、トータルでどういう環境を用意するか考えている。幼・保と小・中一体にして統合を考える。議論しながら、前向きに決めたい。

6. 住民自治の拠点となるコミュニティ施設の必要性は、十分認識している。奈良市内には、公共施設が3000棟有り、すべての施設を維持・更新していくには、多額の費用がかかるため、施設の再配置を考えていく必要がある。地域にある集会所や公民館、幼稚園や小学校などの既存公共施設を利用するなど、地域の皆様方と話し合い共に考えていきたい。

7. 前市長時代にどの程度議論したかわからないが、施設の新設は、難しい。平成20年の回答を踏襲するのは、難しい。ご理解いただきたい。

8. 費用をどうするか。限られた財源をどう優先順位をつけるかである。学校の耐震化や中学校の給食に優先的に予算を使っている。ふれあい会館新設は、非常に難しい。

9. 今までの建物を再利用するということですね。このような対話が非常に重要である。今後、膝づめで議論を前向きに行いたい。今後、この課題は、継続して取り扱いたい。

10. 平城西公民館の多目的広場のフェンスは、本年2月、フェンスの間口を改修した。今後は、従来通り軽スポーツが可能な広場としても、また駐車場としてもご利用いただきたい。

<p>11. アダプトプログラムで緑地の手入れをした直後に市発注の業者が処理し、無駄になっていることについて</p> <p>12. 災害時要支援者名簿について</p>	<p>施設の設備については、学校や公民館の耐震化の目途が立ったら、トイレの男女差別化の年次計画を作成し、改修に取り組む。</p> <p>11. 草刈り業務委託の担当課間の連携を密にする。庁内の連携をしっかりとる。また、部長同志調整してもらう。</p> <p>12. 大規模災害時、行政では市民全員の支援は無理である。自主防も無理である。市民の皆様を何とか助けたいと考えている。新興地域では、自治会長は1年交代が多い。100点満点の答えはないと考えている。現実的な名簿の活用方法についてご意見をいただきながら活用していく。</p>
---	--